

一瞬の桜と対照的に、歓迎されていないのに長く続く花粉症の季節を迎えた。有病率（罹患率とは異なる指標だそう）は約4割に上り、いまや国民病ともいわれている。くしゃみや目のかゆみ、鼻水、鼻づまりで苦しむ人は年を追うごとに増えているという。

こんなことを書くのは自分が花粉症だからにほかならない。1990年代初めからの長い付き合いになるが、最初は風邪かなと思っていた。洗濯物は室内干しにし、息苦しくならないよう寝る前の鼻炎薬も欠かせない。憂鬱だ。杉の^{ひのき}次は檜がスタンバイしている。

ところが、ずっと付き合ってきた症状が2年前の春から、だいぶ軽くなった。毎朝の市販薬も飲まなくて済んでいる。思い当たる理由は、3年前の夏の新型コロナ感染なのだが、本当にそれが原因かはわからない。

コロナ感染後、コーヒーやみそ汁の味が薄くなり、香り、においも以前ほど感じなくなった。後遺症の嗅覚・味覚障害なのだろう。それにしても、コロナと花粉症に何か因果関係はあるのだろうか。

車を運転中、くしゃみが止まらなくなったことが何度かあった。幸い事故には至らなかったものの、目に見えない微粒子を恨めしく思った。学生の皆さんも運転免許を取得して日が浅く、なおかつ花粉症なら注意してハンドルを握ってほしい。



「HAKUMON Chuo」は学業や研究、スポーツ、文化、ボランティアなど、さまざまな分野の活動に一生懸命に取り組んでいる中大生、大学院生を紹介する大学広報誌です。春号は毎年、入学式の日に合わせて、新入生や保護者の皆さま、在学生、卒業生らに配布しています。今春より各キャンパスで研鑽を積む皆さんの入学を心よりお祝します。

(編集長 北村 豊)

[STAFF]

■取材協力：学事部、各学部事務室、大学院事務室、学生部、ボランティアセンター、中央図書館、国際センター、入学センター、キャリアセンター、校友会、経理研究所、学員会ほか

■写真提供&協力：「中大スポーツ」新聞部

■学生記者：倉塚凜々子(国際経営4)、小保方愛香(法4)、高橋璃々(経済4)、合志瑠夏(経済4)、酒井優実(商4)、吉田未来(理工4)、三浦菜々花(国際経営4)、鈴木萌結(国際経営4)、北村結(総合政策4)、小西結音(総合政策4)、上原希成(国際情報4)、金岡千聖(商3)、池田さくら(文3)、高橋来佳(文3)、木村結(法3)、渡邊弘将(国際経営3)、小林莉子(国際情報3)、松岡響紀(経済2)、渡木彩文(文2)、九十歩胡春(文2)、荒田智海(文2)=順不同

■制作協力：株式会社トリッド

Web版「HAKUMON Chuo」はこちらから閲覧できます。

NEXT ISSUE

「HAKUMON Chuo」2025 夏号
No.286 2025年7月11日発行予定

2025 春号 No.285
2025(令和7)年4月2日発行

発行：中央大学広報室
〒192-0393
東京都八王子市東中野 742-1



“学生記者”になりませんか？

Would you be a student reporter?



(申し込み・問い合わせ)
中央大学広報室
「HAKUMON Chuo」編集担当
E-mail: hc-grp@g.chuo-u.ac.jp

「HAKUMON Chuo」は中大生が取材・編集する大学広報誌です。
現在、学部在学生を対象に学生記者を募集しています。

メリット
1

元新聞記者のプロや先輩の学生記者に、取材方法・原稿の書き方や、添削指導などを受けることができます。将来どんなキャリアを目指すにも文章力は重要です！

メリット
2

取材を通して、さまざまな人に出会うことができます。出会いの数ほど思い出ができることでしょう。

メリット
3

記者活動を通して、コミュニケーション能力など社会に出て活躍するための基礎力を身につけることができます。



プロ野球ドラフト会議で指名された硬式野球部選手の記者会見＝2023年10月26日、多摩キャンパス